

J P V Aメールマガジン【Y E H E Y ! J P V A : 5】

第5号

発行日：2008年1月12日

Y E H E Y ! J P V A 第5号

I N S I D E N E W S

新年のご挨拶

シリーズ：～MKDの今～（バジャウの子どもたちとクリスマス）

マリナオンドミトリーでの餅つき

リコーダーコンテストツアー報告

お知らせ&募集

編集後記

1

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

会長 網代 正孝

今年も皆様のご支援を受けながら、日比の新しい課題に挑戦していきたいと思いを。
どうぞよろしく願いいたします。

当協会の大きな特徴はだれも行なっていない分野の活動をする。日比の双方にとって有益な事業を行なう。「課題に対して挑戦し道を開いていく」ことです。

昨年を振り返りながら「課題挑戦」についていくつかのご報告をいたします。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao5-1.pdf>

2

シリーズ：～MKDの今～

バジャウの子どもたちとクリスマスパーティ！

プール学院の学生訪問！

MKD（ミンダナオ国際大学）は当協会のこれまでの集大成として2002年に故内田あや子教育基金で創立された大学で、国際学部、福祉学部、教員養成学部の3学部があります。現在、1年生231名、2年生69名、3年生60名、4年生39名の計399名学生が学んでいます

。

MKDの学生は勉学だけではなく、様々なボランティア活動も行っています。そのボランティア活動のひとつがバジャウでの識字教育活動です。

バジャウは水上に居住して生活をしている海上漂流民です。その多くは不法占拠民です。また、教育をまともに受けておらず、子どもたちは学校にも行かず、路上に出て働いたりしています。そのため、文字の読み書きや計算が得意ではありません。

JPVAではMKD学生とともにバジャウの子どもたちへの識字教育を行っています。先日、MKDの学生はバジャウの子どもたちとともにクリスマスパーティを行いました。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao5-5.pdf>

MKDの報告はこちら

<http://www.jpva.org/mkd.html>

マリナオンドミトリーでの餅つき大会！

WHAT'S マリナオン・ドミトリー

J P V Aではダバオ市内（空港から約 10 分、市内まで約 15 分）に宿泊・研修施設を運営し

ております。退職後、海外でロングステイをしながら、それまでの経験を活かし、フィリピン社会で何か貢献をしたい、或いはボランティア活動など、何が自分に出来るか確かめたいとお考えの方の会員のために、中期滞在者向けのお部屋をご用意しております。

ご滞在中は、ダバオのご案内、当協会が現地で行っておりますボランティア活動への参加、視察、ビザ延長の手続きなどを含めまして、こちらでの生活を始めるにあたり、様々なサポートをさせていただきます。

また、若干介護が必要な方が、こちらで中期滞在し、十分なりハビリをフィリピンの理学療法士の免許を持った当協会ボランティアスタッフより、ご希望にあわせたプランで受けていただく事ができます。

餅つき大会！

年末、年始にプール学院大学の先生や学生がドミトリーで過ごされました。現地在住の日本人の方やMKD（ミンダナオ国際大学）の学生とプール学院大学の皆さんがマリナオン・ドミトリーで餅つきを行いました。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao5-3.pdf>

マリナオン・ドミトリーページはこちら

<http://jpva.org/malinaon.html>

J P V A現地活動のページはこちら

<http://jpva.org/genchi.html>

J P V A 現地活動の映像報告はこちら
<http://jpva.org/video.html>

4

リコーダーコンテストツアー報告

2007年11月30日より12月6日までリコーダーコンテストツアーが行われました。今回のツ

アーの目的はJ P V Aの活動を幅広く理解して頂くこと、また、今回で15回目を向かえるリコーダーコンテストを觀賞して頂くことです。12月1日のリコーダーコンテストではカリナン地区の会場に移動し、ダバオ市の小学生、高校生のリコーダーの演奏を楽しみました。また、リコーダーコンテスト終了後はマラゴス自然公園に移動し、昼食。その後、日比歴史資料館へ移動し、日比の歴史について熱心に学ばれていました。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao5-4.pdf>

リコーダーコンテストの映像はこちら

<http://jpva.org/video.html>

過去のツアー情報のページはこちら

<http://jpva.org/tour-kako.html>

5

各種募集事項・お知らせなど

卒業式ツアーのお知らせ

J P V Aでは毎年、3月下旬から1週間程、卒業式ツアーを開催しています。
今年も、同時期にM K Dの卒業式やY A G I 幼稚園の卒園式に参加するツアーを計画中で
す。1月下旬には詳細はお知らせ致しますが、是非参加をご検討ください。

過去のツアーのページはこちら

<http://jpva.org/tour-kako.html>

デジタルカメラを寄付して頂けませんか？

ご家庭や職場などで使われなくなったデジカメを募集しています。集めたデジカメはM K D (ミンダナオ国際大学)に寄贈され、学生のボランティア活動など役立てる予定です。
完全に破損してしまっているデジカメや動作しないものはご遠慮ください。
また、事務局までの送料は恐れ入りますが各自ご負担頂けますようお願い申し上げます。

事務局ボランティアに来ていただけませんか？

会報 60 号の発送に伴い、事務局にボランティアに来ていただける方を募集しております。
内容は会報発送用のラベルの作成や封筒づくり作業などです。

1月19日(土)に事務局に来る事が可能な方は下記までご連絡ください。

お待ちしております。

また、上記日程に限らず、事務局の作業をお手伝いして下さる方も募集しております。

<http://jpva.org/jpvaoffice.html> より、お問い合わせください。

連絡先

〒182-0006

東京都調布市西つつじヶ丘2 - 3 0 - 1

(特活)日本フィリピンボランティア協会事務局

T E L : 0 3 - 5 3 8 4 - 9 5 3 6

F A X : 0 3 - 3 3 2 6 - 5 0 3 7

E - M A I L : jpva@mua.biglobe.ne.jp

編集後記

あけましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。

J P V A メールマガジンも第 5 号の発行になりました。いつもありがとうございます。
さて、前回号で年末年始を海外で過ごす方の海外旅行者数は 64 万 4000 人と掲載しました。
旅行会社 H I S が毎年出しているプレスリリース (http://www.his.co.jp/material/pdf/n_tr_20071203.pdf)(2007 年 12 月 3 日)によると、マカオ、ハイナン島が前年同日比 200%超、カンボジアが 131%だそうです。また、人気の渡航先は 2007 年 - 2008 年は 1 位がグ
ア
ム、2 位がソウル、3 位がホノルル、4 位がバンコク、5 位が台北、2006 年 - 2007 年では
1 位がソウル、2 位がグアム、3 位がバンコク、4 位がホノルル、5 位が上海でした。残
念ながらフィリピンは 10 位までランクインしておりませんでした。

しかし、同じく H I S のプレスリリース (http://www.his-j.com/company/pdf/news/n_tr_20051203.pdf)(2005 年 12 月 2 日)を見ると、2005 年 - 2006 年ではマニラが 7 位、2004
年
2005 年ではマニラは 10 位とランクインされてました。

フィリピン(全国)を訪れる日本人の年間渡航者数は、2002 年に 34 万 1867 人、2003 年
に 32
万 2896 人、2004 年に 38 万 2307 人、2005 年に 41 万 5456 人、2006 年に 42 万 1808 人
で増加傾向で
はありますが、一方グアム(アメリカの島)を訪れる日本人の年間渡航者数は 2002 年に
78
万 6947 人、2003 年では 65 万 9593 人とアメリカ合衆国の島でしかないグアムにはフィリ
ピン
(全国)のおよそ 2 倍の日本人が年間に渡航しています。
成田から距離も、乗っている飛行機の時間もそう変わらない位置関係にあるにも関わらず
、このような差がでてしまうんですね。

次回号の発行は 1 月下旬を予定しています。

寒い毎日が続きますが、皆さん風邪を引かないようにお体にお気をつけて、お過ごしください。

(事務局：長谷川大輔)

=====
=====

【JPVAメールマガジン】2008年1月12日(第5号)

発行元：(特活)日本フィリピンボランティア協会 (<http://www.jpva.org>)

編集担当：長谷川大輔

問い合わせ：東京事務局(中井・長谷川)

ご意見、ご感想：info-jpva@silk.plala.or.jp

JPVA入会案内：<http://www.jpva.org/jpvaoffice.html>

メールマガジンの解除、メールアドレスの変更：info-jpva@silk.plala.or.jp

お名前、解除または変更するメールアドレスを記入してください。

Copyright(C) Japan Philippines Volunteer Association 2008

掲載記事の無断転載はおやめください。